

日常生活に溶け込む計算機システム - Intractableな実世界情報をTractableに -

奈良先端科学技術大学院大学
情報科学研究科
河野恭之

そのための道具立て(1)

- 着用型カメラ: 実世界対象の切り出し
 - 観測画像中からユーザが興味を持った対象物体(ユーザが手に取った物体)を切り出し, 過去観測済みの対象情報との間で同定を行う.
- 仮想タブレット: semantic情報の付与
 - 手にとった入力面(任意の矩形物体)上で指を移動することによって, 着用型PCに対して情報(文字, 絵, 地図など)を入力する.



快適???な日常情報生活

腕時計型PDA
スケジュールリマインダ
アドレス帳
備忘録

日常の記録・思考活動に必要な
(情報)環境を持ち歩き, 身につけたい!

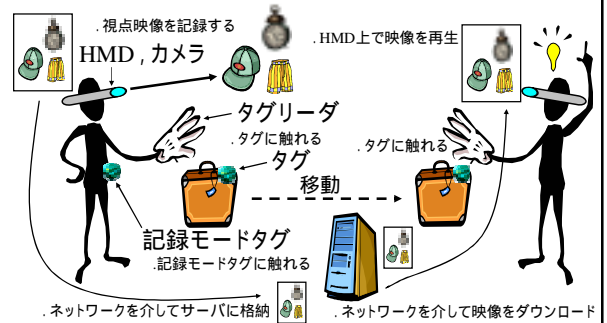
携帯電話
(メールビューア)
電子辞書
小銭入れ
...

巨大な鞆
ノートPC
通信デバイス類
書籍...

- ・ 思い出さなければならない時に必要な情報がリマインドされる
- ・ 好きなときにブラウズとメモができる
 - ブラウズ: 思考活動に必要な情報の参照
 - メモ: 思考活動結果の生産物

そのための道具立て(2)

UM: 実世界対象への情報付与・抽出フレームワーク



Intractableな実世界をTractableに

- ・ 機器の小型化・統合化
...は置いといて
- ・ 実世界対象の記号化
- Semantic情報の付与
- ・ 実世界情報を用いた情報の整理
- 人手の介在?勝手にやってくれる?
- ・ 実世界情報を用いた情報の検索
- 行動意図の抽出(広い意味でのcontext awareness)

記号化された実世界情報の利用

- ・ 実世界情報へのアクセス系列 言語情報

